

2019 年度第 40 回「北米社会科教師招聘プロジェクト」を実施

期 間：	2019 年 6 月 24 日（月）～ 7 月 2 日（火）（9 日間）	
参 加 者：	リア・ボス	テキサス州キャロルトン ヘブロン高校
	バーナビー・クック	ウィスコンシン州リオ リオ・コミュニティ高校
	ブライス・クーン	メリーランド州ロックヴィル トーマス・S・ウートン高校
	ティモシー・ディリー	カナダ・ブリティッシュ・コロンビア州ピットメドウズ ピットメドウズ高校
	ブライアン・フィリベック	ノースダコタ州ベウラ ベウラ高校
	アマンダ・ガイガー	フロリダ州タラハシー レオン高校
	マイケル・ジェンスビー	ジョージア州イーストポイント トライ・シティーズ高校
	メラニー・クロブ	ルイジアナ州ニューオリンズ イシドール・ニューマン高校
	ナオミ・オヤドマリ	カリフォルニア州ルサーン・バレー ルサーン・バレー中学校
	アシュリー・ウォール	ロードアイランド州ポーツマス ザ・ペンフィールド・スクール(中学校)
コ ー デ ィ ー タ ー：	横田 有弘	経済広報センター国際広報部主任研究員

経済広報センターでは 1980 年以來、毎年、米国、カナダの中学・高校の社会科教員を日本に招聘し、政府や企業、教育機関の関係者や有識者等との交流機会を設けている。今回で 40 回目を迎えた同プロジェクトには、これまで米国全州ならびにカナダから総勢 700 名以上が参加。来日で得た知識や経験を授業や地域での諸活動に活用し、生徒たちの日本に対する理解と共感の増進に取り組んでいる。今年度は、テキサス、ウィスコンシン、メリーランド、ノースダコタ、フロリダ、ジョージア、ルイジアナ、カリフォルニア、ロードアイランドの米国各州ならびにカナダのブリティッシュ・コロンビア州から計 10 名の教員を招聘した。

一行は、6 月 24 日から 7 月 2 日までの 9 日間、外務省ならびに経団連事務局から SDGs（持続可能な開発目標）や Society 5.0 に向けた取り組みなどを聴取するとともに、教育現場の現状や AI と共存する働き方などについて有識者の説明を受けた。さらに、日本銀行で金融政策などの説明を受けたほか、KDDI、グーグル、京セラ、オムロン京都太陽、アマラックストヨタ（メガウェブシティショウケース）、日本生命の 6 社を訪問。少子高齢化が進む日本における各社の課題解決に向けた取り組みについて意見交換を行った。

最終日には、福田康夫元首相を表敬訪問し、福田元首相からは、こうした草の根レベルでの相互交流が国際的な信頼関係にとって重要だとの話があった。



同日、総括として開催したシンポジウム「A I時代に求められる人材育成」では、岸浩稔野村総合研究所主任コンサルタントによる基調講演の後、10名の教員が、古沢由紀子読売新聞編集委員や岸氏とともに、A Iやロボット活用の進んだ未来社会で求められる能力やマインドセット、さらには教育のあり方について、現場の実情を踏まえパネルディスカッションを行った。

以 上

一般財団法人 経済広報センター 国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-3-2 経団連会館 19 階

電話：03-6741-0031

<http://www.kkc.or.jp/> ※本稿の無断転載を禁じます。